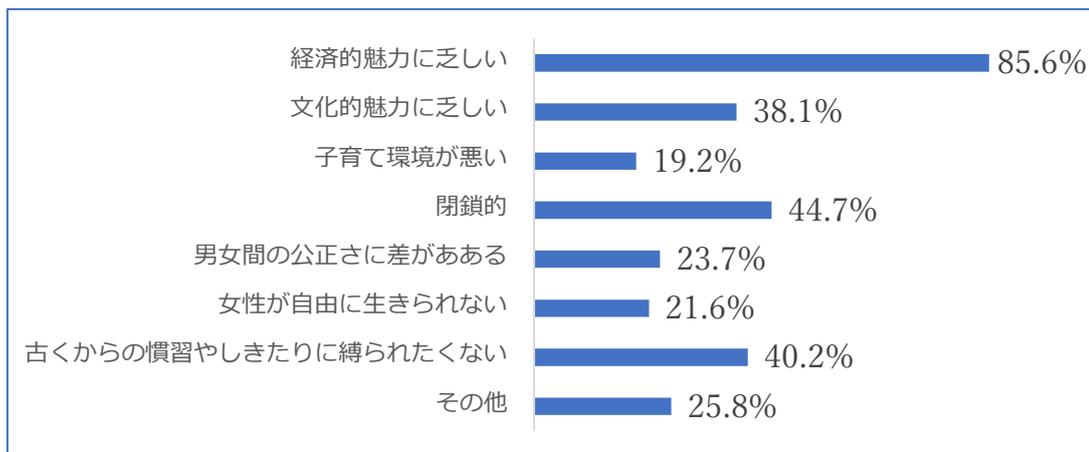


### (3) なぜ県外に出る女性が多いと思うか

県外に出る女性が多いと思う理由を尋ねると「経済的魅力に乏しい」が85.6%と最も多く、次いで「閉鎖的」が44.7%、「古くからの習慣やしきたりに縛られたくない」が40.2%と続いた。

県外に出る女性が多いと思う「その他」の理由を見ると、「選択肢が少ない」が最も多く、次いで「生活環境に不満」、「県外に出たかった」が続いた。

図 5-1 あなたは、今なぜ青森県外に出る女性が多いと思いますか（複数回答）



#### ■ 「その他」を選択した方の記述内容 ■

##### a. 選択肢が少ない

・働きたい企業数・ジャンル・選択肢が少ない	(22)
・大学や専門学校が少ないので進学先の選択肢が少ないため	(5)
・そもそも働き口が少ない。若者が行くような店が少なく、地域としての魅力が少ない	
・働きたくても求人が多くないため、選択肢が少ない。また、低賃金なので、給与だけでは生活がままならない	
・就職したいと思える就職先がない(あるかもしれないのに探せない、探す方法がない・わからない等も含む)	
・就職先がないから。もっと選択肢の幅や、就職先を知る機会があれば地元に戻りたいという気持ちが強くなると考えられる	
・就職する際に魅力を感じる企業がなく、給料がとて安。また、娯楽が少なく昨今の趣味などを楽しみたい女性にとって交通手段において不便だと感じる人が多いと思う	
・コロナ禍で、働き方にも選択肢が増えたことで、昔よりも田舎に住むことにも抵抗感は減ったように感じるが、15年ほど前でもこちらに戻ってくる時は、負けたというような感覚があった。やはり、都会は様々な面で選択肢が多く、また当時ネット環境はある程度あっても人も物量も田舎とは全く異なり、	

## 2 調査結果

得られる経験値が違うのを何となく感じていた。都会の一般常識を、田舎の暮らしだけでは得にくいな ということは今も感じている
・就職の場が少ない、雪が多くて住みづらい、車がないと住みづらい、女性が楽しめる場が少ない
・県外の方がチャンスがあるから。チャレンジするなら若いうち。失敗してもやり直せる
・自分の希望とする仕事がない。または、地元が県内の人については、家族関係が複雑で、家族と離れた たいがゆえ。などなど
・交通の不便、娯楽施設のなさ、何より給料の良い職場がない。そもそも、建物ばかり建てそれをうまく 使うこともできず、税金ばかり使っている。そのお金を一部上場企業を誘致して職を増やして欲しい
・学びたいことが県内の大学にないことがある。仮にあったとしても合格できるとは限らないし、国公 立大学ではないと経済的に負担が大きいいため合格圏内の他県の大学へ進学するから。県外へ出た後戻 るのも難しいと思う。就活で何度も帰省しそのたびに交通費がかかる。それならば進学した先で就職した ほうがいい、友人もいるしよいとなる。正直勤めている会社の配属先にならないと厳しいと思う
・進学のために他県に行くと、青森県内企業への就職活動の機会が限定されるため、他県で就職、結婚、 定住する人が多い
・一次産業の会社が多く、それ以外だと介護か医療しかなく女性が活躍できる就職先が少ない
・自分の希望する進学先が県外であれば仕方ない、少子化に伴い県内の高校ですら閉講などで十分な進 学先が望めなくなる、そのうち高校進学の時点で県外流出もあり得るのでは？
・日常の選択肢が狭い

### b. 生活環境に不満

・冬が厳しい・雪が多い・寒い	(15)
・商業施設・遊興施設が少ない	(6)
・給料（パート・アルバイト料）が安い	(6)
・公共交通の充実度において不利な面がある	(3)
・男性上位の慣習	
・大都市圏と比べると、どうしても娯楽施設やおしゃれなものが少なく、大都市圏に憧れてしまうと思 います	
・関東などの都会と比較してしまう、都会への魅力が大きく、自身が生まれた地域への肯定感が低い のではないかと感じます	
・無いものねだり。自然の良さを当たり前だと思い、日常に感動を感じられない。人口が少ないから他 人の干渉が強い。知っている人がいないところに住みたい	
・環境や文化の価値にまだ気づかないから外が良く見え冒険したくなる。自ら考える楽しみ方を知らな い。遊び方を知らない	
・青森県で生活することが将来の楽しさにつながらない構造にあるから	
・自分が根を下ろして暮らしていく（将来を預ける）には、青森県は嫌だから	
・暗いイメージ。同じ寒い地域なのに北欧はオシャレに感じる	

・ちょっと遠くへ出かけたくても交通費がかかる
・車の運転が大変
・戻ってきて、人間性も悪くなって感じた。誰だ、田舎は人がいいって言ったの？
・方言が強い、よそ者扱いをされる、過度なおせっかいや噂話好きが多い、車社会

## c. 県外に出たかった

・都会への憧れがあるから	(4)
・自分の可能性を拡げる生き方がしたいから	(3)
・親元を離れて生活してみたい	(2)
<p>・青森県に限らず「一度は都会に出てみたいという地方出身者の価値観」には普遍的な部分がある。「一度は出てみたが、また戻りたい」と思えるどうかは課題だと思う</p>	
<p>・学びたいと思える分野の学問や、働きたいと思える職業が見当たらないことで、青森でやりたいことが見つけられないからだと思います。本当は、青森県内をよく探せばやってみたい業種や職種があると思うのですが、探すにも情報が散らかりすぎて目が届きません。</p> <p>心がときめくような仕事に出会えない。県外に行った方が自分が思い描く働き方ができると思ったとき、県外に出てしまうと思います</p>	
<p>・情報がたくさんあって都会（県外）での生活が容易に想像できるため、県外に出ることへの不安が少ない。また、地元の友人ともネットでつながれるので地元にいる理由が特にない</p>	
<p>・楽しむ場所（買い物、カフェ、遊園地、映画館など）</p>	
<p>・専門的な勉強や仕事に就きたい場合に転居する（キャリアアップ）</p> <p>イベントやサービスなどの選択肢が多い都市部へのあこがれ</p>	
<p>・青森県よりも魅力のある地域で暮らしてみたい（青森県が魅力がない訳ではない）</p>	
<p>・世の中に楽しいことがたくさんあるので、そうしたものに会いたいと思うのは自然なことではないでしょうか</p>	
<p>・移住のハードルが下がってきたから</p>	
<p>・県外に出るような教育をしているから</p>	

## d. その他

<p>・高校卒業までに青森の良さを意図的に知る機会がない。(基本的に各家庭の教育等に任されていると感じる)小学生時に年1回父の仕事仲間とその家族と青森県内1泊2日旅行をしていて、青森にも色々な場所(観光、自然、文化)があることを知りました</p>
<p>・いろいろな人の中で、自分の多様な価値を認められて、それなりに活躍できる文化を求めているから</p>
<p>・底辺生活者で若ければ県外に行って少しでもゆとりある生活をしたいと思うのでは？</p>
<p>・選択肢として、東京へ行くか、青森に残るかの2択が多い気がする。その2択の場合、少しでも稼げそうだと思って県外へ行くのでは。あとは、女性だとやはり「跡継ぎ」に関して親から言われにくい気がするので、出ていきたい人が出て行っているのでは。そのほか、自分が東京で暮らしてみても思っ</p>

## 2 調査結果

ことだが、東京と青森は近い（新幹線だと日帰りもできる）ので、軽い気持ちで出ていく人もいるのでは
・進学先等で出会った配偶者の地元に住む人が多いのも一因では？ 従妹は全員、結婚して県外在住です
・女性に限ったことではないが、「長子が家を継ぐ」ということが当たり前のことではなくなってきた現代において、生まれた土地に定住することへのこだわりを持つ者が減ってきていることが一因となっているのではないかと私は考える。また、女性が働くことが当たり前になってきた現代であれば、移住のための資金調達も過去と比較すれば容易になってきたことも理由に挙げられるのではないかと思う
・良くも悪くも親近感があり、例えば、名前を言うと「〇〇さんのお子さん？」と人のプライバシーに入り込んでくる地域性が、若いうちは煩わしかったりするのでは？ その良さも悪さも、一回は外に出てみて、初めて分かることかと。その他、県外に出ることにより、体験、経験してみたいこと、できることが多数あるだろうから
・自分の子供の可能性を閉ざしたくないから
・息苦しくなるから
・本当の顔が見えない人が多すぎるから
・テレビや SNS で紹介されるキラキラした世界観に囲まれて暮らしたいと考える人が多いのでは
・青森が素敵なのは、離れてみないと気付けないこともある
・出会いを多く得て人間的に成長したい
・実力で勝負しづらい環境
・卒業校により就職に有利・不利の差が大きい
・女性に限らず縁故雇用（コネ入社）が横行している
・パワハラが多い
・青森県でできる仕事を持つ女性が少ないから